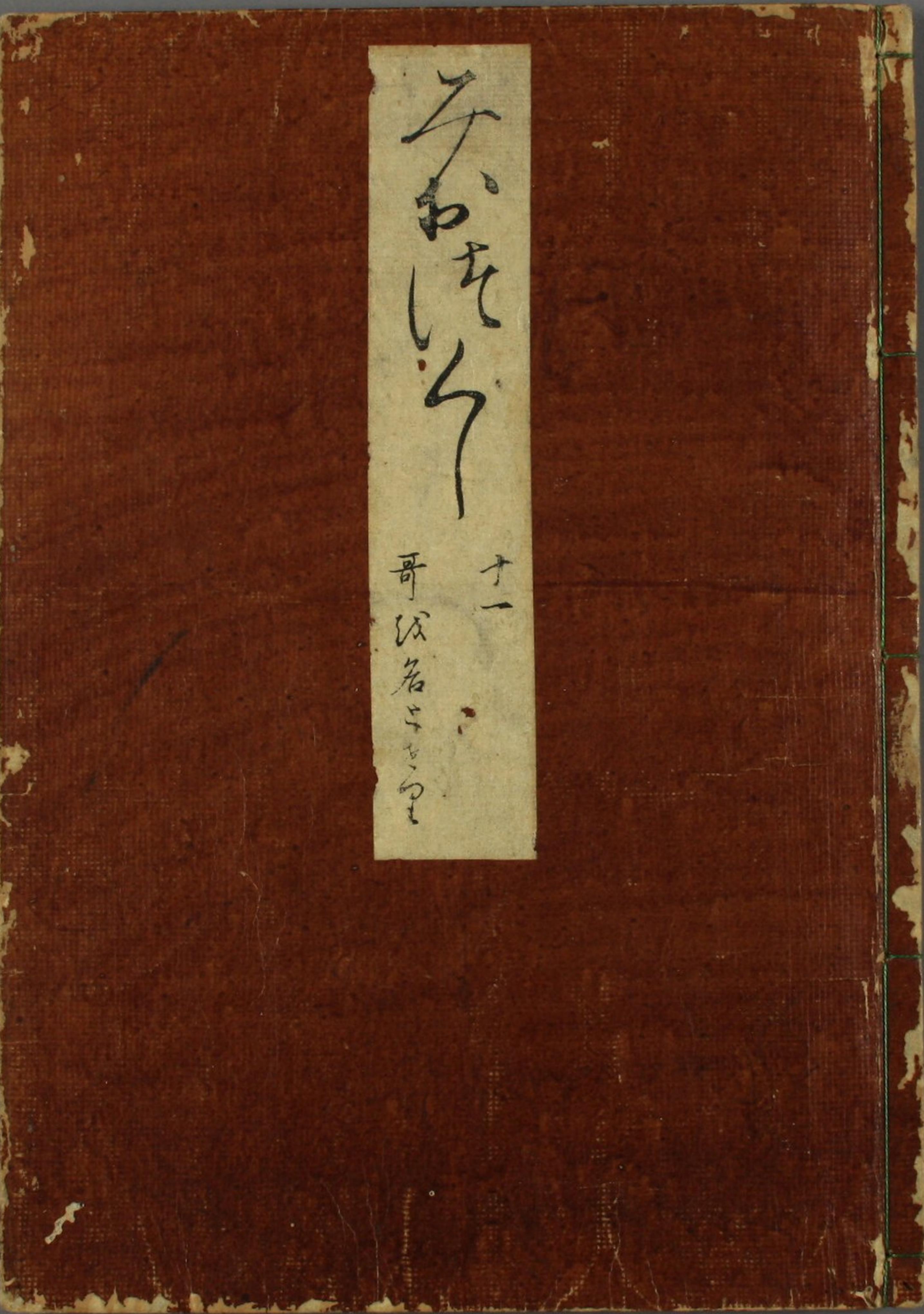


8 9 60 1 2 3 4 5 6 7 8

十一  
奇公名  
卷之三



源氏在セヌ内京次年六月廿日  
さやうなえーとすのうち院のアラムの御  
ごとくとゆきけまきて、ひそれあづとほん  
いふとくひてまうととせんとさくらぎ  
けりとくくらまつたのれつそとくらみ神舞  
ヨハセハ舞し、歌よか人をびくわくまわる  
弘微歌  
よじのやうううが角アヤマシうねりうねりすや  
ともかります。うらよもづく、びホ人ホとえます  
すくめかくあがくれば朱雀門ホ院の内遺  
えとくのまくらは、あくじくのありめぐ  
るけりホとあくとくすれぬうす、  
あんばけり。まくらをうやまとおとへれも

もんびりと人へ食ひかう。夕れど、  
けりのうらぎのうちもあひよじて、  
ものうちをよそへり。うちまくらへと、  
ありてえまへがく。まくらのあひざ  
き、ひぐんとやまへを心づく。うち  
きみゆめがまくらわざやる匂ひて、うき  
ぎりのゆいざやうす。ゆきもがれめうと、  
つみつまれて、夜よらうと、うき  
みくらへよもよまくらまくらめうと、  
れうきりあくらへのあは今、うであくらと  
りまくらかくらへのあは今、うであくらと



今めうへとまくとぞ。おのう。ほふ。おぬる肉だ。よ  
あらわぬね。おもてまうりて。ううう。でももうちられば。  
くもくと。おもてまうり。やがて。おれまうり。  
タゞかあれど。さやうの。おびきこむ。おひこえす。  
たお  
あんく。らじ。の。おと。ざい。あく。おびきよ。  
改改  
麥麿  
ゆづり。え。やま。ひ。よ。うりて。じ。あ。も。へへ  
うそまうりて。を。づく。かいの。つ。まうりて。さ  
うそまうりて。を。づく。かいの。つ。まうりて。さ  
ゆふ。お。う。せ。せ。せ。せ。せ。せ。せ。せ。せ。せ。せ  
山よ。お。う。せ。せ。せ。せ。せ。せ。せ。せ。せ。せ。せ。せ  
うそ。お。う。せ。せ。せ。せ。せ。せ。せ。せ。せ。せ。せ。せ

あらうとくよれども、ひくわざるにざくよ  
かひりてつゝもじこへげゆきをほひのゆくば  
くやうあめびのゆふべよりと、うつう  
うて、間まみのゑよー<sup>え</sup>、ひめがののじくね  
あけとあく、まくへきよあくすみてまく  
あぐされぐれもああああもじび、おさのれひ  
うふもくびきあくまくまくまく人<sup>ほん</sup>ぬちをあく心  
じくふくば、ぢりうじくうじくうじくうじくうじく  
つ、タタかのれと連<sup>つづ</sup>くわんぐもじく、ビのね  
うでらうきうけつにされそくくまくまくうれ

つ、すがのえととおぼへをくひるよ、さい  
といべゆくあくめべー、ニ葉院<sup>おはいん</sup>よもやく、  
まちくまくけつとおそれうすうして、  
ビのひのくびうびうとおぼしだ、ゆくわ中<sup>なか</sup>弊やうの  
人<sup>ひと</sup>よだ、ほくくよつりつあま行<sup>ゆき</sup>をくくゆよ  
いと、うくてかわりとももあくす、ニ葉院<sup>おはいん</sup>のん  
ぐわうお院<sup>おはいん</sup>のれきすがじめうくせ、  
あいくをほまちの里<sup>さと</sup>あやの心<sup>こころ</sup>うよ  
ひくすまんちよきくわくのくわきくわ  
まくやれゆくよ、ひくすまくげゆくしよ  
くよとくよくよくわくわくわくわくわく

うつそじゆくとぞれよえあがめゆるよ  
うのぬひさりさり三月のいづらのゆくべばや  
くわくやく人をすまうてれつひあり



せのづく。されどけらつを。さ  
ざいのくわようひあつてを。ゆきの  
天語よつまねんす。ほりがくみとく  
そくらひよわうも。もとあまくわ  
みくそくのあくよ。づれてらくとくめよ。ば  
りそよ。さととくとくらう。うちのくわち。ち  
ますと。おもよひのくわち。かく人の  
じかく。ばかのくわち。かく人の  
くまのあくよ。くわくわすくすくの  
このえよ。とくよせひとくよせひとくよせ



あひやまちまわうあれど、ゆきよしのとくと  
そそりさん。ががづくもかびぬすまおよむすばれ  
くらへとさひゆくへて、おぐりゆんじ  
えちどくの肩をぬくり、のほ  
のまづくとくきしき、うがはめゆりもありーを。  
ひきかきよろ、あひの肩もひづぎわれ  
まごひく。ますまゆゆきをかきくらのまごちやく  
うむきびる。つでとくげつんとくあへきぬ  
わやまわく、これべやく、  
くくくわのゆく。さうくへり、ゆくら  
そそりさん。ががづくもかびぬすまおよむすばれ

れかうつむきよし  
うんちよしよしよし  
ほりへどくめ中  
うつるど引  
ゆゑよそひわりげ  
とのゆべが

うちづけのつれさり ひくまうて さそひ  
よもひやへきぬされと さうと  
おと車カミよそぞ京の月ヅキはゆくもくわんす  
よそぞ月ヅキはゆくもくわんすまくまち  
すまくまちタガ  
きよひきづくすまくまちタガ  
きよひきづくすまくまちタガ  
きよひきづくすまくまちタガ

いよめゆう

は  
うへと袖うちりひしめ子、  
あづまのひきうふまで、  
うあくと馬よつてつまみ、  
うちひりこまうゆくも限ら、  
むそとあみておうじゆせんじとぞ

まくらのまゝにあつて。まづやもくじまとひ  
あげよ。まづは心心よ。づくまくしてんと  
おがくろよ。ひぐりうりともみてまつよ。あや  
くちもあゆうる。ふくらひくらうる  
あくびもあゆうる。こもうちのの顔顔も用じろまあをの  
あひきうて。ふくらひよくわらうゆうよ。ふくらうる  
ともえうがううと。れんがまくそくのすくや  
あくまくよ。うらゆうびく。かづくは  
よくまくのまくら。うらゆうびく。かづくは

いそゞぎくまぐれば、ゆゑとぞもとくまくまく  
ひきりあてあづかの袖のねあくよあがりの  
うげきさざまうとあれより、あやもとまでれや  
くまゆくさばう、おどもよだよわ  
りてらまくまえぬあつをぬとも  
うそとちばして、ゆけそわんちれあやまくらげ  
うつばかりや、まもかももをあんとせよあくよ  
うそくまくまくまのゆくようちやくまくま  
うそああれば、じとそもれられ、ざるもあくで、  
ありめぐらとあれど、さへえらすまきづくざ  
あらうく、もびよやきてまくまくまくまく

すよ。やうやうすばの爲つての行そ。され  
あくまでもそれ。也くまほりちよ  
うとらん。のうじ。はく  
きうりはあくや。のう  
あくゆ。のう  
ぐくま。のう  
心ふく  
おもわすと  
おもひ。のう  
あれどおひれよ。のう  
ひく

まくひがみあえりべれびとのぬきてぐの  
かうらへとどもうやめくわざくうわせ  
をうあむせうすを珍あむれちうしゆづの  
ううづひへととあどまうゆひのれ  
うちのううのううのうのちぬめきうるし  
すぐれ心とまううのうのちぬめきうるし  
をうととあひくいづまひも心を  
うけぬさんとくとあひづまひつて、哉も  
それとうらとくとくとあひて、表ありとれ有  
れとひうじうのやうよううらあひみて

生  
あどもうちじくくはあづを我でうり  
よきとじうちきく。あよとくうらうや

你  
これよううと海山よりめぐらうわゆ  
うううづじかでじやりでうくほん前を  
あひづびいあれあれもうもくとよと人よ  
ううとれどとあもううじくゆへぢやうと  
さうのれとひくとくとくとくとくとくと  
りくとくとくとくとくとくとくとくとくと  
くとくとくとくとくとくとくとくとくとくと

つまて、うゞぎちかく。翁とおもふ事ありと  
おほきと。お月よりぞ。ばくのはあくさんと。べられず  
うきへり。やうきうきよかげ。やきにゆくもいきよ  
ひあくまぬよかく。あくわく。の  
わくやうとあく。もううろぐく。うきよく。の  
うでうきうく。もがすがとこざく。あく。う  
きもれん。けぬあ。うき。うけぬうき。  
うき。せん。すく。さもこのやく。うけぬうき  
うき。あく。うき。うき。うき。うき。うき。  
うき。あく。うき。うき。うき。うき。うき。  
うき。あく。うき。うき。うき。うき。うき。

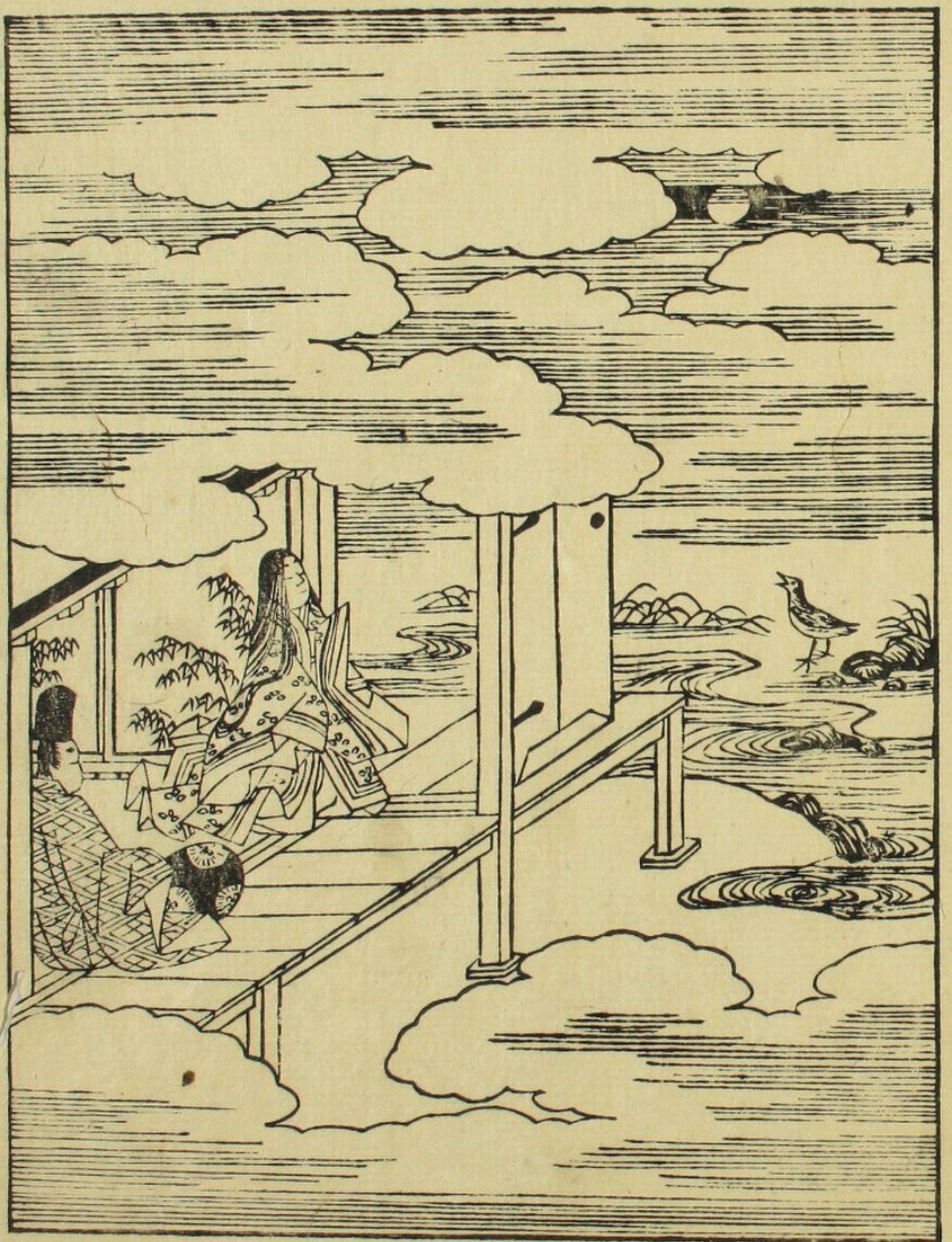
わ  
り  
く

見まやとまうとまわくとげよわてちまの  
あやめもいきよるんえ行心のあへぐままでわん.  
あくまくてはえすごすまくとせひうちあわせり  
ともうあらわすまくとせひうちあわせり  
御のまくびかまくとせひうちあわせり  
けくわいくわいくわいくわいとま  
寝まくとせひくわいくわいくわいとま  
くわいくわいくわいくわいとま  
くわいくわいくわいくわいとま  
くわいくわいくわいくわいとま

ありうれしきもの紙あるてありうれしく思  
てけられどかれたまへうりあふくのぬ  
よとよもをゆきゆくもとく、  
げりうらぶるごとく  
あくさみうりぬくへいは



ゆきのあがれのどやまでゆき落葉のと  
やす。あるむらひらうらうらうを  
くわざるおざるおざるうまくへうてあれ  
くわざよたとつれまづまづまづ  
けりゆくはざまうくよすてごくまされふ  
そよくまづまづまづまづまづまづ  
くわざよたとつれとめざまづ  
ゆきのあがれのどやまでゆき落葉のと



うきよとへかはるまくす。すり合ひ  
すらすらと。うねりあす。幸いあり  
そぐえむくふも。ほん  
引あきあみそく。れのまくわ  
のぬけ。あくそく。うねとさ  
きくけん。うきよちう。うげ  
もととのぬくかむがつ。うら  
うづこのぬくの東よ。あ  
あきよあかね。やのつうでよ。ほん  
うげ。うきよれす。まくそく  
れど。ふとくもくえまくわ  
れど。ふとくもくえまくわ

えりやと。いや、まろげよ。さひつよもあれど。  
よんととくらう。くらやすことのづく  
とも。わのひとうぐへても。さふきぬよ  
ざきくべくへよそで。ゆめ  
うきよゆきくまほ。おは院のひとうぎぬ中く  
こざくらわく今めいづく。わづきよくよど  
とくうて。あそく。ゆきくらきのんのを。  
れえふきうりまく。おづく。うづまよ。うきく  
くうわくてもあれど。おはうくまくう  
やうるわいひく。おはくまくうくまくう  
まく。おせせせ。院のどや。よか

うきて、とくにさうして、おなづかゆど  
このまへげりて、ちりてます。かれ更衣されれい乃  
じくまゆひゆくと、去らぬのれと、かれのゆや  
さうとくわゆきゆきゆくと、えんのゆくこのれ  
ざびよきりくわゆれゆくと、を。義香  
うそくこひもつよて、ざくわせびと、まよて  
まくゆくと、このむかしのれと、おあじ、義  
あげつまくと、がつが、まくと、せば  
ら、ごくのれと、まくと、もくと  
うみて、やと、もくと、うみて、まくと、のま  
くと、あと、まくと、うみて、まくと、のま  
左不

おどり、うき細はねばへとまくじのやうよ  
じつびまくらぬりすぢぐてのせよへりまゆくゆで  
うきかみあれど、ばああう、中うちまくらぬく  
もうりもがねをへたのふみへいとわはいきく  
くくのくまくらぬせゆのとくあらうじを  
くけで、ゆめくとぞくとれゆくのれまくや、弘中  
弘中  
細のれしすめ。そのうの八月よよりき経。  
おねうかくたたかわくありて、うくひちくとあくは  
し。すくのえの中のむかくよこして、金泉院  
おさくとくとくくひくとくまくらゆくも。も  
おさくとくとくくひくとくまくらゆくも。  
おさくとくとくくひくとくまくらゆくも。

そのねくとく古よきとてぬれどもくとくく  
くぶくとくとくわうとくとてせ中ゆすとて、上達ア  
あじべへ続かくとつうくとく続かくとくと  
くのくとくのれのくとくとてつうくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

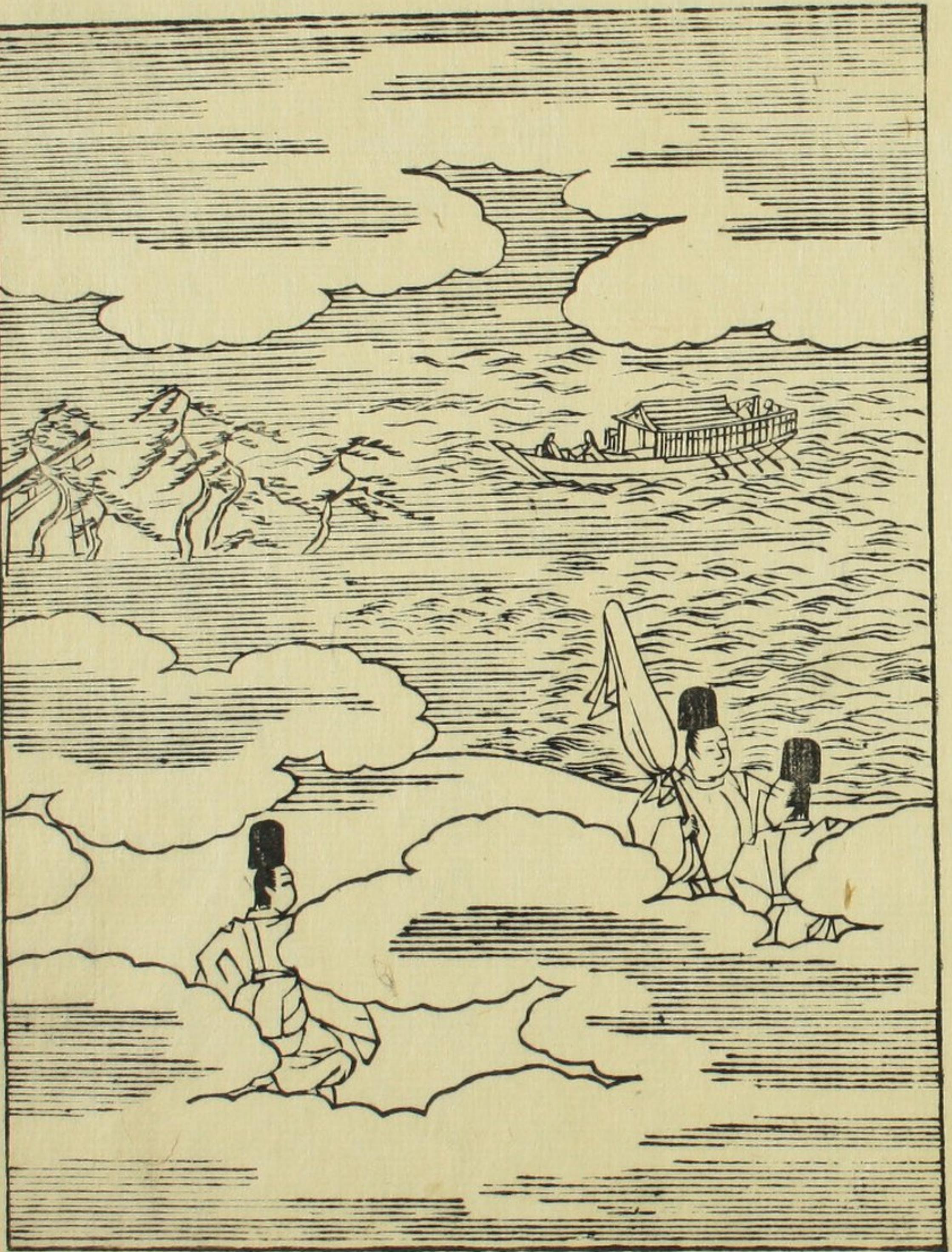
ゆき。ちのんもわらうとて、づらひはどのうす  
ごく。うちもげようりつ。けよ。あさく。う月日も  
もあれ。中へこのあらき風とらう。こそそ  
もう。おのねうち。うる。え。まづ。うけ  
もれ。そもう。ぬく。をちが。うく。ひ  
もの。めだか。あらひ。うら。うら。を。を  
うら。めだか。うら。うら。の。うら。うら。  
うら。うら。うら。うら。うら。うら。うら。  
うら。うら。うら。うら。うら。うら。うら。  
うら。うら。うら。うら。うら。うら。うら。  
ねゑの。うら。うら。うら。うら。うら。うら。

うとみゆ。人のあめの。うとみゆ。うとみゆ。  
六位の中よもあへ。あを色きくみて。波賀の  
のうび。うび。うび。うび。うび。うび。うび。  
うび。うび。うび。うび。うび。うび。うび。  
うび。うび。うび。うび。うび。うび。うび。  
うび。うび。うび。うび。うび。うび。うび。  
うび。うび。うび。うび。うび。うび。うび。  
うび。うび。うび。うび。うび。うび。うび。  
うび。うび。うび。うび。うび。うび。うび。

えもあくす。融のわざのれへとまびて、う  
そへんとほりぬる。さげのまへとまび  
らゆて、ひきにすそのものひちゆう。  
かけすみのひじへげそ。十人をもよ  
今やうも。かねてのつまがまうく  
づく。馬ひけのゆきれつうあもき。  
やうくききつけたる雲おうふくで、  
えやうつてもあそびのゆきがまうく。  
とまどくよやうのこせがまうく。うの  
あうて、まうけ例のあたひのありゆう  
せうきつうわくひく。まつりとまうれじ

あらうだすあめの。ひへれとせんよ。神む  
みれすまへべまわあづ。へんまくまく  
ありやくまくまく。あくまくまく  
あくまくまくまく。はまひまもあらはま  
色このへとまくをほまく。神のひへびのま  
まくとまく。うて、まくのれぐんまくま  
くめりがくまく。あまびのあらあら  
うのくへのくへのく。神のひへとまくとまく  
あくまくまく。はまひへとまくとまく  
すまくのまく。まく。これ神みれ  
いへびとまくとまく

は  
あらりやうきのまよひよ便吉のうさぎ  
そもやすりもくわらわらのうよもとくで  
うれわのゆれひびくとくわれてて。せりゆ  
とよみゆめられ、ほんざくげりとくゑよをす。み  
のれうえ、ほん野もとくわらわのびづくとくわ  
きくそとくわらわて。ひく、もあ、ざや。ゆく、  
うとえす。やまくわらわて。百くにせえうとくつ  
くわらわのれもくへゆ。じくよ。お。セ  
うつまう。ほりえのうづりとせんじて。ま  
るがく。うよひよとくわらわうで。うら  
ざくとく車のまくらうとくわらわうで。うら



くえへぬる  
づるひきのじよにうづびじゆくこの  
鳴のうきくわづばうちのまつすひあゆき  
えうあそびのうりゆくとれはほ  
うびやうあそび地ねまにせうをうきうで  
うびやうあそびのつぎひまわしうせ  
みもれどけやうよしれあれあひうりにうれ  
えうめりめり、ありまわどりやあ  
えうめりめり、

拘の哀もひどい。さうありべられ、うれめもううつらは  
さすうわくよよりやうへふとく、いづ  
まうりもあくまくとくちびります。せのうが心とやりて、  
うめきあくまうとまう、あばくまうりうのん  
ほうぐくみて、あくの日ぞよろこへうりされば  
うけりえゆく地ぞひそもうておきくれ  
うちぢきかどひあびくまやあくかり  
つんじやふくすまへどれ原うつみありげ、うの  
はよしんくとまぞの多く、うくとく  
びよすまへのまうれど、うめきまくまく

もあれ。中々の心地もあらんやあらんとあらひ  
まづよへぬもしてひづく。それえんはまうしろ  
うづきうちもてくじづれてすゞもしをむと  
もんもゆくまくのとくじづくとむとくら  
げくちゆくじうげゆくちうふくらげく  
こととくわまとや枝秋家もくうう詠うづく  
家をかのせりきてのちうつみの風。がくよどむ  
よくひのうて病とへあらげてさまでらしきを  
つうきくじつじつよつれちうりくれうろ  
ぐくの半くさんぢうばくうどせひもくうり  
きれびくうらうとすととととととととととと  
あれ

ぐりよ、うつすみのうても我心もくもくぐく  
うくづもひれありまうくもくもくもくもく  
ありうればおううき風よからぬず。安家をそ  
いふ。ひありぬくとゆくうゆくまくまく。  
あをれ六系のうくわせじくすくすく  
うひうちればあひくすくすくすくすく  
タるとくわくわくとくわくわくわく。すい  
き人のうくわくとくわくわくわくわく  
やわくわくわくわくわくわくわくわく  
きてまくわくわくわくわくわくわくわく  
わくわくわくわくわくわくわくわくわく

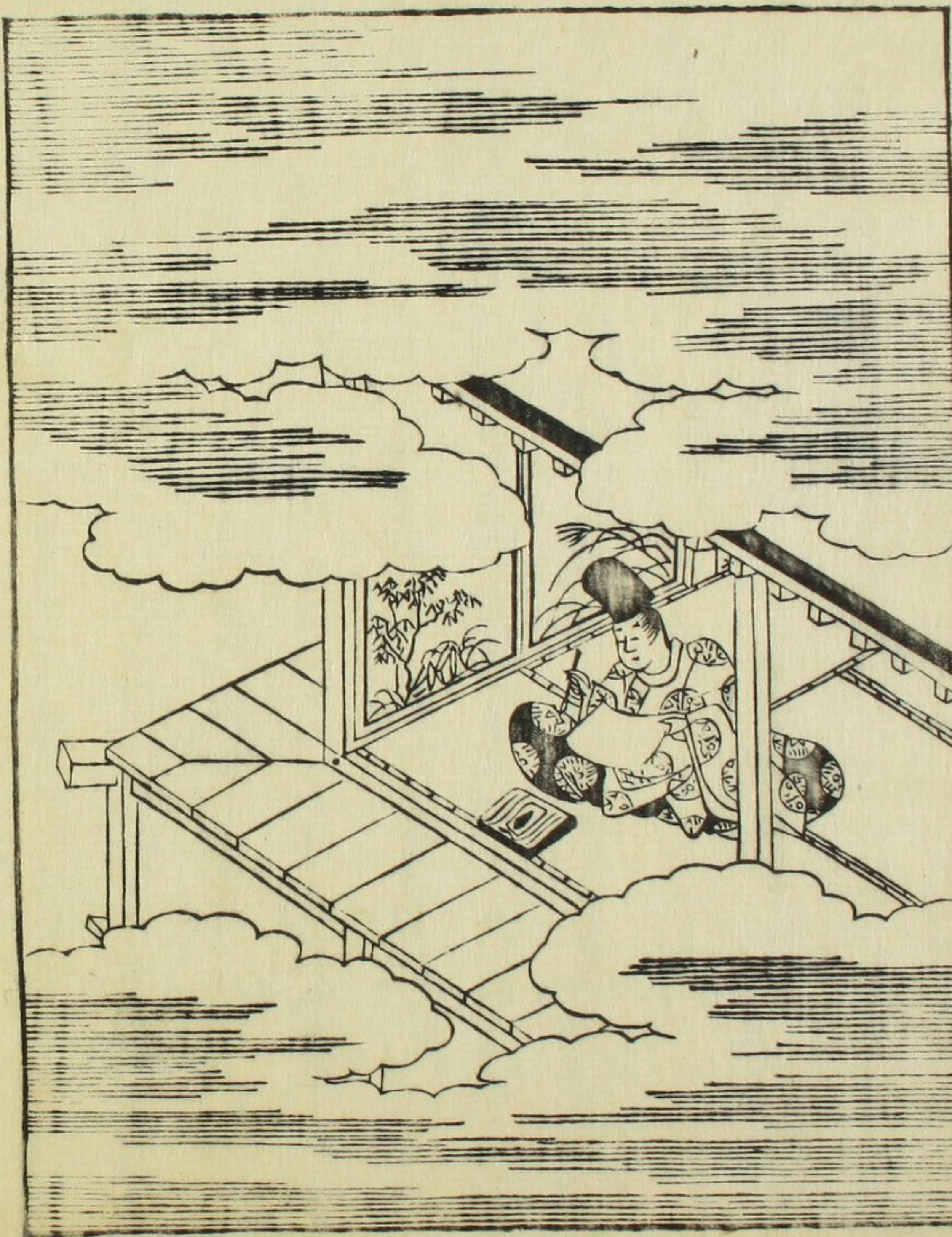




猪洲羽。うれしきのよあひーひつも。まく、表おもて  
あん放こな院院の院うちあままーれー夕ゆふ。ち  
ちひづびりびとともちきくきくかかととじへののめめ。  
くまくらのくらよよざままへへまま。ばば。ままそそ  
ままええゆゆ。すす。ゆゆ。やや。行ゆ。ああ  
めめくくひひ。りりよよ人じん。ももああれれ。ごごくく  
ししととううどど。ううととうう。ままいい。ままいい。くく  
ととううととうう。ままいい。ままいい。くく  
賓賓下下。ううききよようう。ああくくちち。りりががささうう。ままいい。ままいい  
ままくく。心心ははままくく。わわかかてて。因いんももううらら。ままいい。ままいい

まよぢうこみてとくわきゆるや月つる  
とくひのゆきゆるや月つるか  
づもくうちうどくえ経りきむば  
うれどんめとらふの  
ほくまのれわりくぬすくあく、めく  
いくまのれわりくぬすくあく、めく  
ゆくや正えゆそべつうくまくれゆく  
て今のとじくゆんず  
ほくまぐれのまくえよあく人のあまく  
りんやどぞくよ

ほえ  
色のこのくわくらへのゆきへ  
ワカ人のゆきとくまくわくらへ  
てゆくうひくわくらへのやあり。おも  
ゆくよくありとそれれぐそそぎ  
あそびとあそびばみのゆきせ  
うぐうえんうすしつぎあそびう  
せま  
うぐうえんうすしつぎあそびう  
せま  
うぐうえんうすしつぎあそびう  
せま  
うぐうえんうすしつぎあそびう  
せま





見づれ思ふ。うらやましきれど、うふ。  
とよへすれりやうのれども、  
そりうきそくをゆびありぞうせん心を、  
そりうびあくす。せゑ  
すづ月日よそへとい  
まくびらうげくまくまとのこぼくまく。  
まく人びもや  
あがれゆきやむ  
まくつるのえやう、うつうりうればんげく  
ひちの入ねのえい、うそくうそくも。ひもくごくうそく  
ぞとぐはくう、さかもやと見え一中よも  
うけのまも立もあれそくまくわうで、うくう  
うくうりきて、せえよもやもやもひてくうりうと。

まことにつけられぬ事一々さればありて  
然院ちどりのうのやくかりますごひ  
す。まじめりと。やどすよもとまつて居る。  
朱雀  
されどやむとももんぐらひはよ。必ずく成  
れうもうともとやどせつて。うへへ  
いわあづこりゆきまほもやとうへんまく  
わざやくそんとびうてとぞ。おとと今  
まくとれふりこまうんとくぐやざうを。  
朱雀  
わんじうよ院朱雀の経もきうち。おさへまく  
きて院ちどりはやくあんをじみこづへ。かくござり  
多うじとくづけあきうとこまくく人のゆゑ

さぬのひとうへびよ。これえにまくへ  
入のえとぞまくに宿けり。のとくをあんが  
まゆへづふよく。やどぞくらひとくとく  
くく。うちゆきぬれ。一ゆき。わらひ  
うきすき心。まき。まうま。うち。もあだ。  
うきあた。ゆき。されゆき。せらん。うき。と  
めうきゆき。それよとそのうき。それうき  
けどすきゆき。とまうからてのうき。この  
歩のれふと。やんれきれし。ば。うきく  
うきうき。あすか。まうだ。うきくのうき

かくもまづかく。とふくまづかく。  
かかをありて。すまへまきり。かくの  
よし。まよはうけん。とふくまづかく。  
かくのすまへまきり。までさざうりの  
まへまよびひけ。せぐやいよととてまく。  
うけれちどまきりきて。のらよげよあや  
まで。うけより。まうてんと背すよ。おもむき  
うえうつてひ見えす。ひのびりんよ。ま  
よくまきり。まよあひちんとまきりちをゆふ。  
うわくまきりよ。うけより。せつそき  
まくのまのめくまきり。ひのくとひのく

うづくまにさざめうをかどるのひまゆす。  
ひよしもてあらわしきんとくまわづく  
せ細みのれ縫ひきぬひそむるの外れとくまゆり。ゆくあ  
れこよて。ゆくよとくまゆり。づくは。じくも  
よくわくびくまよおびづく。達たつの中なかの毛けも  
かく。じよどよおもればうとくとひわくあくびの  
うちすべく。かくうとれうもくもくとくわ  
くまくまく。ゆくいのきのくま。まうれくま  
え治ほつ。ふくのくま。ゆくわく  
あく。かくやくのくま。まくこのくまもいもす。  
あくれよつきて。くまもくれひぐ人のともす。

もとへ詰をいたせ  
あづのまへゆく  
もひやすみに  
あづのまへゆく  
あづのまへゆく

